

## 無題

どうか、ひっそりと生きることを許してください  
敗北者という刻印を押すのはやめてください  
ただ生きてあることを許してください  
あなた方が声高に言う「平凡」を私は知らない  
その中に押し込められることは苦痛です  
私に反逆者の素質がないからと言って  
蔑みに満ちた眼差しで射ることはやめてください  
私の手にしたこのナイフに恐怖するなんてことは  
実に馬鹿げていて、騒ぐに値しない筈だ  
「それこそお前自身が自分の無能さに向けた刃だ」  
などと、したり顔で喚き散らすのはやめてほしい  
私は人間であって社会的奴隷ではないのだ  
あなた方は我々を去勢することによって  
己の自負心を満足させたいだけではないか  
今やあなた方は小さな端末に目を凝らし  
大気に色彩があることさえ知らない  
創造することを捨て  
使役することだけを追求し  
制御不能なシステムを乱費し  
その排泄物に見て見ぬふりをし  
部分であることに徹し続けている  
ああ、どうか、ひっそりと生きることを許してください  
この時代にあって、たった一つ残された自由を  
踏み潰すのはおやめください

(2011.6.22)